

●編集顧問／牧野永城、菅原克彦、阿部令彦、出月康夫、武藤輝一、田島知郎、萩原 優、北島政樹

●編集委員／跡見 裕、畠山勝義、炭山嘉伸、桑野博行、宮崎 勝、島津元秀

●編集同人／佐野圭司、近藤芳夫、阪口周吉、鈴木章夫、秋山 洋、塩谷信幸、諏訪邦夫、岡崎春雄、松元輝夫、折田薫三、細田泰之

このところ、連日のごとく地方自治体病院の医師不足が問題となっている。また、日本の医療はどうなっていくのかが学会においても大きく取り上げられている。日本外科学会・日本消化器外科学会でも、すでに特別シンポジウムとして話題になった。2007年11月の日本臨床外科学会でも、特別企画としてこの問題が取り上げられる。

2004年に新しい臨床研修制度が発足し、これが義務づけられた。国は十分な補助金を出し、適正な給与を保証するとして卒後研修の理想像を掲げてスタートした。しかし、現実にはこの数年間の経過のなかでさまざまな問題が生じている。そもそも研修医のアルバイトを禁止していることから、学生たちは給与の低い大学病院を敬遠し、大学の研修医不足が生じた。大学は労働力としての研修医を確保するため、関連病院から医師を引き上げさせた。そのため、地方自治体病院は医師不足から閉鎖に迫いやられているところも多い。国は十分な補助金を保証するとしていたが、十分な財源の確保はできておらず、研修医に対する補助金は最初の理想とはほど遠い。そのため、研修医を預かる各病院の人件費負担は増すばかりである。

また新臨床研修制度のもと、従来は自分の進みたい科に直接入局していた新任医師は、多くの科をローテーションすることで外科系のような労働条件の悪い科を敬遠することが多く、このままでは外科系医師の確保が困難となり、国民は緊急性を要する医療をすぐに受けられなくなるという大変な事態が起これつつある。

さらに、研修医の教育体制も施設格差が激しく、質のよい研修ができていないか否かも大いに疑問である。このように考えると、現在の研修医制度はあまりにも矛盾が多く、早くこの制度の矛盾点を改善しないと日本の医療は崩壊してしまう。

国はしかし、新研修医制度はそれなりに成果を上げているとしている。現場を直視していない証拠であり、われわれとしてはこの窮状を何としてもわかってもらおうべく、何度も何度も訴えるべきであろう。

(炭山嘉伸)

臨床外科 (第62巻第10号)

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23
社内案内 (03) 3817-5600
販売部直通 (03) 3817-5659・5660
振替口座 00170-9-96693 番

2007年10月20日発行 (毎月1回20日発行)

定価 2,625 円 (本体 2,500 円 + 税 5%)
2007年 年ぎめ予約購読料 38,960 円 (税込)
(送料弊社負担・増刊号を含む 13 冊)

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5708
ファクシミリ (03) 3815-7802
E-mail: ringe@igaku-shoin.co.jp
担当 鶴淵・田村・中田
印刷所 三報社印刷㈱ 電話 (03) 3637-0005
広告申込所 ㈱医薬広告社 電話 (03) 3814-1971

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2007, Printed in Japan
- 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- JICLS < ㈱日本著作出版権管理システム委託出版物 >
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き、禁じられています。本誌を複写される場合は、そのつど事前に㈱日本著作出版権管理システム (03-3817-5670) の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。
- 「臨床外科」ホームページは <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/ringe/> です。